

第106回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成24年4月27日（金）13：30～16：00

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 長崎大学学長選考会議委員の選出について

議長から、教育研究評議会において選出された長崎大学学長選考会議委員について、平成24年3月末で評議員の任期が満了したことにより欠員となった後任の委員（2名）の選出について、投票により選出する旨の提案があった。

引き続き、総務企画課班長から資料1に基づき、投票方法について説明があった後、3回の投票が行われた結果、以下の2名が学長選考会議規則第3条第1項第2号委員として選出された。

○ 山路評議員（教育学部長） ○ 林評議員（歯学部長）

(2) 教員の人事について

（教員の個人情報を含む審議事項であるため非公開）

(3) 学生の懲戒処分について

（学生の個人情報を含む審議事項であるため非公開）

(4) 大学機関別認証評価（2回目）について

理事（総務・財務担当）から、資料4に基づき、大学機関別認証評価について説明があり、2回目の大学機関別認証評価に関しては平成26年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の評価を受けることについて提案があり、審議の結果、異議なく了承された。

(5) 新学部の構想と創設準備体制について

理事（人事・組織改革担当）から、資料5に基づき、平成26年4月設置を目指して構想を進めている新学部について現在の構想案と今後の創設準備体制の説明があり、新学部構想の方向性並びに創設準備委員会及び創設準備室に係る要項を制定することについて提案があり、審議の結果、異議なく了承された。

なお、審議の過程で、大要次のような意見が出された。

- 就職先はどのような企業を想定しているのか。
- 海外の企業、もしくは国内の企業でも海外の企業と関係するグローバルな企業を想定している。また、大学院進学や教員免許取得できるよう検討している。
- 研究科設置、教員の所属についてはどう考えているのか。
- 優秀な教員を採用するには研究科が必要であるため、学部と同時に研究科の創設も検討

する予定である。また、教員の所属については今後の教員組織のモデルとなるので、研究科の所属にするのか、あるいは言語教育研究センター等の所属にするのか、今後検討していく予定である。

- 新学部において、英語をどのくらい重視するのか。
- 進級要件に TOEIC の点数を課すことや留学を課すこと等を検討しているが、高校の進路担当の教諭から、高い英語力の基準を課す学部には学生は行きたがらないという意見を聞いているので、今後議論していきたい。
- 「多文化社会学部」という名称をもっと工夫した名称にすべきではないか。
- 現在はまだ仮称であり、長崎の過去の歴史からオランダをはずせないことや長崎大学の個性も出していないことを踏まえ、今後検討していく予定である。
- 秋入学については、モジュール制の教養教育との連携は物理的に厳しいのではないか。
- 秋入学を導入するためには、国家試験の問題等があり、ダブルスタンダードを取らざるを得ないうえ、ギャップタームや就職の問題から、大学全体で導入するのは様々な問題があるため、まずは新学部からの導入を検討していく予定である。

(6) 長崎大学名誉教授の選考について

議長から、長崎大学名誉教授の選考について審議の提案があった。

引き続き、本年3月に退職した本学教授のうち、各部局の教授会等の議を経て、学長に内申があった者18名について、各部局長から資料6に基づき、それぞれ略歴、功績など推薦理由の説明があり、審議の結果、内申のあった18名に対し名誉教授の称号を授与することが、異議なく了承された。

(7) 長崎大学における大学間交流協定に基づく交流留学生に対する授業料の不徴収実施基準の一部改正について

理事（国際・危機管理担当）から、独立行政法人日本学生支援機構が実施する留学生交流支援制度（ショートステイ、ショートビジット）に基づくプログラムにより受入れる交換留学生（特別聴講学生、特別研究学生）の授業料を不徴収とするため、大学間交流協定に基づく交流留学生に対する授業料の不徴収実施基準を一部改正することについて、資料7により提案があり、審議の結果、異議なく了承された。

(8) グローバル人材育成推進事業及び大学の世界展開力強化事業の公募について

理事（国際・危機管理担当）から、資料8-1～5に基づき、平成24年度グローバル人材育成推進事業及び大学の世界展開力強化事業の公募について報告と、両事業への申請に係る今後のスケジュール等について説明があった。

引き続き、グローバル人材育成推進事業のタイプBへの取組みを予定している部局の評議員から、資料8-6に基づき、構想の概略について説明があった。

(9) 文教キャンパスのサイン計画について

副学長（産学連携、環境・施設担当）から、資料9に基づき、長崎大学キャンパスマスタ

ープラン2010（文教町2キャンパス編）における部門別計画の「サイン計画」について提案があり，審議の結果，異議なく了承された。

4 報告事項

(1) 平成24年度科学研究費助成事業（科研費）の内定状況について

副学長（研究企画担当）から，資料10に基づき，平成24年度科学研究費助成事業（科研費）の種目別・部局別の内定状況等について，報告があった。

(2) 第4回長崎大学「高度安全実験（BSL-4）施設」設置の可能性に向けた学長室WGについて

学長から，資料11に基づき，平成24年4月21日(土)に開催された『第4回長崎大学「高度安全実験(BSL-4)施設」設置の可能性に向けた学長室WG』で審議された，高度安全実験(BSL-4)施設の立地候補地等について，報告があった。

(3) 平成23年度の国家試験合格状況について

理事（教学担当）から，資料12に基づき，平成23年度の国家試験合格状況について報告があった。

以上